

2019年11月6日

## 「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します！

JR北海道では本格的な冬を迎えるにあたり、北海道ほか主催の「冬の交通安全運動」の実施期間にあわせて、踏切手前でスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型」の踏切事故を防止するため、「冬の踏切事故防止キャンペーン」を実施します。

キャンペーン期間中は、全道各地の踏切や駅で、ドライバーの皆様には「踏切手前では早めのブレーキで確実な一旦停止」、「万が一、踏切内に閉じこめられたら、そのまま車を進めて、まず脱出」、また「車が動かなくなった時には非常ボタンや発炎筒等で列車を止める」ことなどを呼びかけます。



踏切事故防止キャンペーンの様子

### ■実施期間

2019年11月11日(月)から11月20日(水)までの10日間

### ■実施内容

- ◎「冬型」の踏切事故を防止するための取り組み
  - ・ 踏切等でのリーフレット、ポケットティッシュ配布
  - ・ 列車内での放送での呼びかけ
  - ・ 特急列車の客室内情報表示装置での呼びかけ
  - ・ 関係機関・団体・自動車学校・企業等を訪問しての呼びかけ
  - ・ ラジオCMの放送
  - ・ 旭川駅コンコースでのパネル展による踏切事故防止の呼びかけ

### ＜冬期における踏切事故＞

2019年10月末時点における踏切事故は、1件発生しております。昨年の同時期と比べ1件増加しております。冬期間における踏切事故の発生は、昨年度は10割、過去5年間の統計でも全体の約6割を占めております。

冬本番を迎えるこれからの時期は、車がスリップして止まりきれず踏切に進入し、列車と衝突する「冬型事故」の発生が懸念され、昨年度においては、踏切事故3件全てが冬型事故となっております。天候や路面状況に応じて慎重な運転を心がけ、踏切手前でのスピードダウンと早めブレーキによる確実な一旦停止を呼びかけてまいります。